

多可町商工会報

はばたき

Vol.31

- 新年のごあいさつ……………2
補助金申請支援実績報告
- 青年部・女性部活動報告等……………3
- 特集：「挑む！移住者の挑戦」……………4・5
- 部会・委員会活動報告……………6
新規会員紹介
- 経営発達支援計画経過報告等……………7
会員クローズアップ
- 技能功労者・優良従業員表彰等……………8

謹賀新年



縁がわちやぶ台 川本淳一氏

インテリアはる 中田一郎氏

「挑む！移住者の挑戦」



会長
清水 賢彦

「成長と調和の願いを新年に込めて」

皆様には清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、予期せぬ社会情勢や厳しい経済環境で変化が多い一年でした。商工会事業については、コロナ禍以前の事業内容と同様に行えるようになり、落ち着きを取戻しつつありますが、国際的な情勢不安は継続し、資源やエネルギーの物価高騰が続く中、最低賃金は大幅に増額し、採用を希望する企業でも人出不足で増員が思うようによい出来ず、経営に大きな影響を与えました。

こうした地域経済を揺るがす外部環境の変化に対し、商工会は地域の総合経済団体として全力を挙げて対策を講じて参りました。昨年六月から定額減税制度が始まり、税制度の変更に対する継続的な対策を含め、事業承継・創業支援の強化、デジタル技術の活用促進やDX・GXへの支援、災害等のリスクに備える事業継続計画(BCP)・持続的社会的の実現に向けた「SDGs」の宣言、事業申請への取組、金融支援や人手不足問題への対応等、役職員一丸となって支援を強化して尽力して参りました。本年も総力を挙げて参りますので皆様には引き続きのご理解とご支援を宜しくお願いいたします。

本年は乙巳(きの)の年、成功という芽が成長していき、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年になると考えられています。大阪・関西万博も開催され、関西を中心に盛り上がり期待されます。ぜひ本年が地域経済や皆様の暮らしが進展する年になりますことを心から祈念し新年のご挨拶といたします。

補助金申請支援実績報告 (令和5年度)

商工会では様々な補助金申請における事業計画策定支援を行っております。会員の皆様に寄り添ってじっくりと相談をお聴きして支援を行っています。新たな取り組みなどをお考えの方は、ぜひご相談ください。

小規模事業者持続化補助金 (上限250万円)

小規模事業者の販路開拓の取り組みを支援。

ものづくり補助金 (同600万円)

経営環境や社会環境の変化に対応した新たな取り組みや生産プロセスの改善等を支援。

事業再構築補助金 (同15億円)

ビジネスモデルの再構築や新事業展開等、思い切った事業転換を支援。

兵庫県起業家支援事業補助金 (同200万円)

県内で特色ある起業を目指す方を支援。

兵庫県事業継続事業補助金 (同400万円)

県内事業者の事業承継時に発生する経費を支援。

兵庫県中小企業新事業展開応援事業補助金 (同75万円)

県内事業者のビジネスモデルの再構築や新たな事業展開を支援。

多可町創業・起業支援事業補助金 (同20万円)

町内で新たに創業・起業する人を支援。

多可町特産品開発支援補助金 (同10万円)

町内の地域資源を活用した新しい特産品開発を支援。

多可町中小企業販路開拓支援補助金 (同20万円)

展示会・見本市に出展する町内の中小企業を支援。

補助事業(国)	採択/支援件数	多可町商工会採択率	全国平均採択率	採択補助金額合計
小規模事業者持続化補助金	19/22	86%	58%	12,718,245円
ものづくり補助金	0/2	0%	52%	0円
事業再構築補助金	4/9	44%	42%	46,687,162円

※全国平均採択率は令和5年度に採択された公募回の採択率を平均して算出

補助事業(県)	採択/支援件数	多可町商工会採択率	採択補助金額合計
起業家支援事業補助金	1/4	25%	987,500円
事業継続支援事業補助金	1/1	100%	650,000円
中小企業新事業展開応援事業補助金	2/2	100%	1,500,000円

補助事業(町)	採択/支援件数	多可町商工会採択率	採択補助金額合計
創業・起業支援事業補助金	5/5	100%	914,000円
特産品開発支援補助金	2/2	100%	200,000円
中小企業販路開拓支援補助金	2/2	100%	400,000円

※採択補助金額合計は申請時の金額です。

青年部

11/10
ふれあいまつり



部長 宮田 創平
(株)宮田石材店

毎年恒例の「キッズ職業体験わくわくワーク多可」を実施しました。今年も織り、大工、ハンドメイド、花屋、パティシエ、土木業、警察、消防の8つの職業体験ブースを設置し、保育園児から小学生まで幅広い年齢の子どもたちが参加しました。



パティシエブース

各ブースでは、青年部員がそれぞれの会社の仕事を分かりやすく説明し、子どもたちに体験してもらおう機会を提供しました。特にキッチンカーや警察車両、消防車の設置は子どもたちから

大きな人気を集め、昨年度を上回る46名の方に参加頂きました。参加した子どもたちからは「楽しかった」「またやりたい」といった嬉しい声が多数寄せられ、笑顔があふれるイベントとなりました。



花屋ブース

園崎さんは「地区大会から長い道のりでしたが、部員皆様のおかげでここまで来ることができました。今回の経験を通して、仲間の絆と感謝の気持ちを改めて感じました。」と感謝の言葉を述べました。今回の全国大会での経験は青年部にとっても大きな励みとなりました。今後も地域活性化のために様々な活動に取り組んで参ります。

11/27-28
第24回商工会青年部
全国大会

自社や自社商品のPRプレゼンを行う「商人ネットワーク」において、園崎順也さん(南戎屋菓子店)が、当部として2年連続の快挙となる全国大会出場を果たし、パナソニックスタジアム吹田で開催された全国大会において、堂々の発表を行いました。



堂々と発表する園崎さん

全国大会は順位がつけられるものではないが、園崎さんは発表内容、プレゼンテーション、話し方、時間配分に至るまで入念に準備を重ね、完璧な発表を披露しました。園崎さんを応援するため、17名の部員が全国大会に同行し、物販ブースでの商品のPR活動にも積極的に取り組みました。ブースでは「園崎さんの発表を聴いて買いたくなった」「とても美味しかったので、もう一回買いに来ました」といった声だけでなく「感動して、一緒に商品をPRしたい」と申し出てくださった他地域の青年部員もおられました。園崎さんの熱意と商品の魅力が伝わり「酒漫 山田錦」は完売。多可町の特産品を全国に広く知らしめることができました。

女性部

10/3
ヨガ教室



部長 増田 和子
(北播トヨタ整備株)

ヨガインストラクターの佐藤明日香先生をお招きし、基本的なポーズからリラクゼーションのテクニックまで丁寧な指導して頂きました。多くの部員が集まり、和やかな雰囲気の中でヨガを楽しむことができました。参加者からは「体がすっきり軽くなった」「心もリフレッシュできた」など嬉しい声が多く寄せられ大好評でした。今後もこのような健康増進と交流を目的とした事業を企画し続けていきます。



心も身体もリフレッシュ!

11/10
ふれあいまつり

さつまいもスティックの販売と手形アート・ハッピーストーンのワークショップを企画し実施しました。さつまいもスティックはホクホクのさつまいもに砂糖をまぶし

たシンプルなお菓子ですが、子どもから大人まで多くの方に好評頂戴となりました。ワークショップでは参加者一人ひとりが、石や色画用紙に和紙を貼り付け、個性あふれるオリジナル作品を作り上げていました。今回のふれあいまつりを通じて、部員同士は勿論、地域の方々との交流を深める良い機会となりました。

11/18
視察研修

神戸迎賓館は壮麗な洋風建築と丁寧な保存された館内、美しい庭園が印象的な場所でした。また、マキシン帽子工房では、職人の方々が手作業で仕上げる帽子作りの工程は大変興味深く、長きにわたるものづくりを体感する貴重な機会となりました。見学していた部員からは「工房見学が興味深かった」「ちょっと違う自分になれたみたい」などの感想が聞かれました。渡邊社長からは帽子の歴史や魅力について詳しくご説明頂き、様々な形の帽子を試着する体験ができ、歴史と伝統に触れる充実した一日となりました。



製作過程を熱心に聞く部員



できたての”さつまいもスティック”

税務署の收受日付印が廃止

令和7年1月以降の紙提出にはご注意ください!

令和7年1月から、税務署による申告書などへの**收受日付印の押印が廃止**されます。これまで、申告書を提出した際に税務署で日付と受付番号が押印されていましたが、今後はこの押印がなくなります。

紙での提出を続ける場合は、自身で提出日時を記録しておくなど、別の方法で証拠を残す必要があります。現在、e-Taxの利用が推奨されており、**e-Taxであれば申告書の提出日時が電子的に記録され、申告の証拠となります。**この変更は税務行政のデジタル化の一環として行われます。納税者にとっては手続きが簡素化される一方で新たな注意点も生じます。詳細については国税庁のホームページでご確認ください。



国税庁HP



縁がわちやぶ台
代表 川本 淳一氏

業種：民間放送業
経営革新テーマ：メモリアルビデオ

「LAST MESSAGE」

人生最後の門出に笑いと涙、故人から感謝のメッセージとしてお葬式でTV TRを流す

キーワード：新役務の開発又は提供

既存事業の概要

私は平成10年のABCテレビ「甲子園への道」でディレクターデビュー以来、長年にわたり放送業界に携わって参りました。スポーツ番組では甲子園やプロ野球、サッカーなど数々のスポーツイベントを取材し、長嶋茂雄氏やジーコ氏といったレジェンドへの独占インタビューも経験しております。またドラマや情報番組、報道番組、バラエティ番組など幅広いジャンルの番組制作にも携わり数々の実績を残しております。平成12年には大手CM制作会社「有テラックスキッズ」を設立しチーフディレクターとして活躍しておりますが、令和2

年のコロナ禍を機に自然豊かな多可町に移住し、令和4年4月、現在の社名「縁がわちやぶ台」を立ち上げ独立開業いたしました。長年の経験と実績を活かし、お客様にご満足頂ける映像制作を手掛けております。

経営上の問題

令和3年に多可町に移住し、地域でより活躍したいと考えていたものの、中々思うようにいかない状況でした。Aもどんどん進展し、誰でも簡単に高品質な映像を作れるようになり、映像制作業界の競争は激化しています。そうした状況下で私が直面している経営上の問題として、①Aによる映像制作の普及により、Aが映像編集の多くを担うようになり、人間が自由にアイデアを形にする部分が少ないこと。②誰でも簡単に高性能なカメラや編集ソフトが使えるようになり、映像制作における競争が激しくなっていること。③映像の委託を取り合うこともあり、安価で委託を受ける



「明石家電視台」着ぐるみとショット

人が増えており、結果として映像制作全体の単価が下がっていることなどが挙げられます。

経営革新のきっかけ

Aにより映像制作の技術は飛躍的に進歩し、映像制作にも反映しております。しかしながら、同時に人間ならではの感性やストーリーテリングの重要性が再認識されています。私自身、ある方の最期を看取り、生前伝えたいことを伝えきれなかったという経験から、誰もが後悔なく最期を迎えられる社会を目指したいと思っております。

現代は、人生の終末を自分らしく迎えたいという人が増えていきます。少人数の家族葬や直葬が増加し「終活」という言葉も一般的になりました。このような故人の人生を美しく映像化し、家族の心に永遠の思い出として刻まれる「メモリアルビデオ」が注目されています。また映像制作の技術革新も進み、より表現豊かな作品が創出できるようになりました。これまでの映像制作の経験をもとに、この新たな分野で、多くの方々に感動と心のやすらぎをお届けしたいと考え、経営革新に挑むことを決意しました。

現在の状況

ディレクターの仕事しながら、これまで映像制作に打ち込んできた仲間たちと再会し、メモリアルビデオの制作事業を伝え、協力を

呼び掛けているところです。これまで培ってきた映像制作のスキルと、それぞれの持ち味を活かし、多くの人々の大切な思い出を美しい映像作品として残したいと考えています。先日、人生の節目を映像で記録したいという依頼があり、特に故人の温かい人柄や家族との思い出をより感動的に表現したいという、ご要望を頂戴しました。こうしたお客様のご要望に合わせた最適なプランをご提案できよう、様々な映像素材や編集技術を研究しております。また、より多くのお客様にサービスを知っていただくための広報活動も開始しました。

今後の展望

長年の経験と高度な技術を活かし、お客様の大切な思い出を一生の宝物となるメモリアルビデオに仕上げます。丁寧なヒアリングに基づき、お客様一人ひとりの想いを大切に、オーダーメイドで制作することで他にはない心のこもった作品を提供し続けたいと思っております。

メッセージ（目標・夢）

プロのスタッフが、お客様の大切な瞬間を美しく記録し、心に響くストーリーを紡ぎます。このビデオが、ご家族の絆を深め、未来の世代へと語り継がれることを願っております。



「LAST MESSAGE」のHPトップ画面の様子

特集

「挑む！」移住者の挑戦

商工会では、事業者皆様の経営を後押しするため、経営革新計画や事業再構築補助金などの申請支援を行っております。経営革新計画とは新しい事業に取り組むための計画であり、事業再構築補助金は事業の規模拡大や業態転換など思い切った改革を行うために活用するものです。商工会では専門家による相談や申請書類の作成支援など様々な形で事業計画策定のサポートをしております。今回は、多可町に移り住んで新たな挑戦に取り組まれたお2人にインタビューを行いました。



インテリアはる
(パン屋coron)
店長 中田 一郎氏

業種：内装工事業・パン製造小売
事業再構築テーマ：移住した強みを活かして地域のニーズを

キーワード：事業転換
への転換

既存事業の概要

当社は、平成5年に神戸市にて内装工事業として創業し、長年にわたりハウスメーカーや不動産業者等から依頼を受け住宅やテナントの内装工事、具体的には壁面のクロス張り、床のカーペット敷設、カーテン取り付けなど幅広いインテリア装飾を手掛けてきました。

平成29年に多可町に移住し、事業拠点を移転。これに伴い、これまで培ってきた経験と技術を活かしながら、以前住んでいた神戸市と西脇市・多可町の双方を主な商圏として、代表の父と後継者である私と2人で営業してきました。

経営課題

これまでは順調に事業を展開してきたものの、近年は建設資材や原油価格の高騰、人手不足など建設業界全体の課題、高齢化や人口減少に伴う工事の着工件数の減少などに悩まされてきました。また、建物の工事で終盤の工程を担う内装工事は、極めてタイトな工期での工事を求められることが増え、肉体的・精神的な負担が年々大きくなっていました。

このような状況に加えて、令和3年以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、主要な取引先だった不動産業者からの受注が激減し売上はピーク時の3分の1まで大幅に減少したため、事業継続の危機に陥りました。



店舗は一際目を引く新しい外観

事業再構築のきっかけ

実は、7年前に多可町に移転した頃から、将来的に別部門として家族でパン屋

を開きたいと考えていました。実際に、パン屋をしている親戚からパンの製造技術を教えてもらったり、友人に試作品を食べてもらったりと「いつ」ということは決めていませんでしたが、来るべき時に向けて準備をしていました。



当店一押し塩パン

新型コロナウイルスの感染拡大で売上が激減しましたが、事業を見つめ直すきっかけになりました。父は自社や建設業界を取り巻く環境は今後さらに厳しいものになると考え、まだ若い私のためにも、この機会に思い切って事業を再構築して、以前から温めていたパン屋に事業転換をすることにしました。

現在の状況

パン屋への事業転換を考えていた時に、知人の紹介を受けて多可町商工会に加入

しました。オープンに向けて令和4年12月以降、事業計画の作成などについて何度も相談に乗っていただきました。また、補助金の活用の支援や労働保険などパン屋の開業に必要な手続を教えてくださいました。内装工事とは全く違う業種なので、戸惑うことも多かったですが、店舗の建設や設備導入、お店のPRなど家族で協力して準備を進め、何とか乗り切ることができました。

令和6年4月18日に「パン屋coron」の屋号でオープンしました。オープン当日は、地域の方をはじめたくさんのお客さんに来店いただき、開店してしばらくは午前中には商品が売り切れる状況が続きました。

今後の展望

あと3ヶ月ほどでオープンから1年を迎えます。これまでたくさんのお客様をお客様に来店いただき、ようやく認知度も高まってきたように思います。これからも「明日のパン」を売るお店として、美味しく食べていただく方を笑顔にできるパンを提供していきたいと思えます。

メッセージ(目標・夢)

今後は新たな挑戦として、来店できないお客様にパンを届けたり、地元産の新鮮な野菜を使った多可町ならではのパンを開発してお客様に提供したりしていきたいと思っています。地元の方々には愛着のある地域の味が楽しめる場所として、観光客の方々には多可町を訪れる思いの一つとして多くの方に愛される場所を目指します。

部会報告



独創的なドレスの数々

11/10 西脇高等学校生活情報科の生徒38名と上田安子服飾専門学校(学生4名)が制作した播州織作品展を開催し、大盛況のうちに幕を閉じました。特に、西脇高校の生徒の黒・白・ピンクを基調とした作品は、若々しい感性と独創的なデザインが光り、来場者から高い評価を得ました。

これらの作品を対象とした人気投票では、223名の来場者が熱心に審査を行い「若かったら着てみたい」などの声が多数寄せられました。今回の作品展は生徒たちの創造性を育み、伝統的な播州織の魅力を再発見する貴重な機会となりました。投票のコメントには「アイドル風でかわいい」など高い評価を頂くなど、来場した方々に播州織の新しい波を感じて頂くことができました。

繊維部会 (橋本裕司部会長)

11/10

ふれあいまつり
播州織作品展が大盛況!
若き才能が織りなす
新たな魅力に注目集まる

工業部会 (後藤高広部会長)

10/15

雇用確保に対する
先進事例セミナー

講師 ▼ 影山舞氏 (静岡鉄道(株)不動産ソリューション事業部事業戦略課)

人手不足課題として捉えている「多可町の住居不足」のヒントを得るため、静岡鉄道(株)の『シェア型社員寮』についてお話を伺い、先進的な雇用確保の取り組みを学びました。参加者からは「リスクや規定の作成について知りたい」といった具体的な質問もあり、講演後には活発な意見交換が行われました。



オンラインで講師と意見交換

11/10

流通科学大学ゼミ連携

多可町に住む若者を増やそうと、大学の「社会共創プログラム」に応募し、流通科学大学の上瀬教授ゼミと連携し、大学生に具体的な提案を依頼しています。

その一環として、

実際に多可町を訪れて、杉原紙の紙漉き体験や観光を通じて多可町を体感するツアーが開催され、町内企業5社を案内しました。今後協議を繰り返して、若者視点で「住みたい町」についてご提案をいただく予定です。



後藤部会長と企業見学中の大学生ら

会員交流委員会 (吉川和利委員長)

10/26

穴喰の海の幸を満喫!
日帰り美食旅行

新鮮な海の幸が堪能できる日帰り旅行を開催いたしました。今回の旅の目玉は海の幸をふんだんに使用した穴喰(しぐい)料理。地元で人気の老舗料理店で獲れたての新鮮な魚介を使った膳が運ばれてきた時には、その豪華さに参加者一同、言葉を失うほどでした。新鮮な魚介の旨みが口いっぱい広がって幸福感に包まれました。食後は美しい鳴門渦潮を眺めながら、ゆったりとした時間を過ごしました。美味しい料理を堪能し、心身ともにリフレッシュすることができました。



視覚と味覚で料理を満喫

11/13

親睦と腕試しを兼ねて!

第8回会員交流ゴルフ大会を、滝野カントリー倶楽部八千代コースにて開催しました。当日は天候に恵まれ、42名の会員の皆様に「参加頂き親睦を深めながら執戦が繰り広げられました。プレー終了後は懇親会を開催し、ゴルフの話は勿論、日頃の仕事の話など様々な話題で盛り上がりました。参加者からは「楽しい交流と憩いの時間を過ごせた」との嬉しいお言葉を多数頂きました。次回大会も皆様に「満足頂けるよう画いたしますのでご期待ください。」



優勝スピーチをする平位さん

委員会報告

おうちごはん ひろちゃん食堂

【業種】 飲食店
【代表】 足立博子
【住所】 加美区大袋 235-9
【電話】 080-2967-6765
【メッセージ】



手作りにこだわった、おうちごはん。誰もが集えるお店作りを目指します。時には趣味の釣り魚も提供しています。Instagram 開設中

焚き火カフェ 焚き火屋

【業種】 飲食店
【代表】 笹原 淳
【住所】 中区牧野字上野 508-1
(余暇村公園手前)



【メッセージ】
自然の中で焚き火を見ながらコーヒーどうですか?
15:00~20:00 営業
火曜日定休日

株 森林環境

【業種】 木材加工業
【代表】 森安哲也
【住所】 加美区豊部 1830
柏原町下小倉 1215
【電話】 0795-88-5122
【メッセージ】



森林は人をつなぎ環境は地球をつなぐをモットーとした会社です。伐採等山に関することなら何でもご相談ください。

Hoshigarasu

【業種】 飲食店
【代表】 小林奈由夏
【住所】 中区鍛冶屋 325-3
【LINE ID】 @101bykzc
【メッセージ】



多可町でお弁当の販売と配達をはじめました。近郊の無農薬野菜や、播州地卵、無農薬や減農薬米をつかい、お出汁の香りをいかした和惣菜を手作りしています。

中川きのこ園

【業種】 農業
【代表】 中川 司
【連絡先】 Instagram 「中川きのこ園」
お気軽にDMください。



【メッセージ】
原木栽培による木の子をつくっております。大量生産には向かない栽培方法ですが、おいしい木の子をお届け致します。

株 塩谷工業

【業種】 鉄工、配管、プラント工事
【代表】 塩谷竜也
【住所】 八千代区中野間 348
【電話】 090-8386-8331
【メッセージ】



大きなタンクから小さな小部品まで何でも作ります。各種配管工事もお任せ下さい。

新規会員紹介

経営発達支援計画

9/20 小売・サービス業
経営戦略セミナー

講師 ▼ 中村佳織氏

(株)リフェイス代表取締役

「デジタル時代を生き抜く！我が社の未来戦略」と題し、小売・サービス業向けセミナーを開催いたしました。

本セミナーではデジタル化が急速に進展する現代において、小売・サービス業がどのようにSNSを活用し集客を促進できるか、また顧客との対面対応力を高めることで、いかに競争力を強化できるかについて、実践的な知識と具体的な戦略を共有することを目的としました。



グループ討議をする参加者

内容的にはSNS活用の基礎から、効果的な顧客対応の実践法まで、現場ですぐに役立つスキルを習得して頂きました。講師からは特に、SNSを活用した集客の重要性と基本的な運用方法について詳しく解説され、Instagram、Facebook、X (旧Twitter)といった主要なSNSプラットフォームごとの特徴やターゲット顧客に合わせた最適な活用方法について具体的な事例を交えた説明がありました。セミナー後には「今日学んだことを早速明日から実践したい」といった参加者からの積極的な意見を多数頂きました。

今後もSNSと顧客対応力を高めるためのセミナーを継続的に開催し、小売・サービス業の皆様がデジタル時代を生き抜き、更なる発展を遂げられるようサポートして参りたいと考えております。

10/2・8
23・30

創業塾

あなたの夢をカタチに！

講師 ▼ 稲垣賢一氏 (中小企業診断士)

村上和希氏 (中小企業診断士)

多可町との共催により開催した創業塾は、13名の熱意あふれる受講生とともに、全日程を無事に終了いたしました。

受講生は新たな事業への挑戦意欲を携えて本塾に参加されました。講義では基礎知識からビジネスモデルの構築マーケティング、財務管理など創業に必要な幅広い知見を学んで頂きました。時折、受講生同士がペアになり、互いの事業アイデアを共有し合う時間もあり、活発な意見交換が行われ、受講生同士の交流が深まる貴重な機会となりました。講師も受講生の質問に丁寧に回答するなど、熱心な指導が行われました。最終日には全講義に出席した受講生に修了証を授与。受講生からは「創業に対する知識やスキルが身についた」「学んだことを活かす、具体的な事業計画を立てていきたい」「新しいアイデアや気づきを得ることができた」など嬉しい感想を頂きました。



グループディスカッションの様子

当会では今後も創業塾を開催し、新たな创业者の誕生を応援して、地域経済の活性化に貢献して参ります。

10/1~
11/30

播州百目どり・黒田庄和牛の食べ比べ
牛×鶏合戦スタンプラリー終了

多可町と西脇市の特産品である、肉質がジュシーな播州百目どり、そして旨味が凝縮された黒田庄和牛を味わえる「牛×鶏合戦」スタンプラリーが大盛況のうちに終了いたしました。全32店舗が参加し、40種類以上のバラエティ豊かなメニューをご提供頂きました。参加者からは「どちらも甲乙つけがたい」との声も聞かれ、予想を上回る好評ぶりでした。特に、地元産の新鮮な食材をふんだんに使用した各店のこだわりメニューが、参加者の味覚を刺激し、スタンプラリーは熱気を帯びました。



今後の特産品をより多くの方にとって頂けるよう様々な取り組みを進めて参ります。

11/19
IT活用セミナー「DX入門セミナー」

講師 ▼ 稲垣賢一氏 (中小企業診断士)

話題の「生成AI」や、情報発信媒体として主流となっているSNSなど、さまざまなデジタル技術をどのように仕事に活用すべきなのかを学ぶ「DX」の入門編として開催しました。

スマホで簡単に使える業務効率アプリや「tagboard」などのSNSといった、いろんな種類の「ITツール」の説明およびその効果的な活用方法を解説いただきました。

「ITツールをどのように使ったらDXになるのだろうか」と考えがちですが、講師から最後に「まずはともかく使ってみて、DXにつながるかどうかは、その過程で考えてみてください」とメッセージが贈られ「とにかく使ってみる」ことが大切であることが受講者に伝わったようでした。



創業希望者も共に学んだDX

会員
クローズ
アップ

このコーナーでは商工会員の趣味やマイブームなどを紹介していきます。

太田工務店株式会社 (加美長島)

代表取締役 太田 亨



仕事への熱い想いを語る太田社長

太田社長に「趣味を教えてください」と会社訪問をさせていただきました。

本業では、建築・施工管理・設計・古民家改修・多可町産松材の販売と、幅広い分野でご活躍されています。

伝統工法大工としての仕事への情熱は並々ならぬもので、趣味も「仕事」と語られるほどです。日々、建物の設計図を描き、現場を監督し、古民家に新たな命を吹き込むことに全力を注いでおられます。

座右の銘は「初心忘れるべからず」。常に建築の原点を見つめながら、お客様に最高の住まいを提供したいという思いで、日々精進されているそうです。

特に、地元である多可町産の松材を使った建築には強いこだわりをお持ちです。「この素晴らしい素材を通じて地域に貢献できることを大きな喜びとし、これからも多くの方々に木のぬくもりを感じて頂ける家づくりを目指し、邁進していきたい」と熱意を語られていました。

令和6年度技能功労者並びに優良従業員表彰式

去る11月22日(金)、多可町商工会館において、技能功労者表彰・優良従業員表彰式を執り行いました。

永年にわたり卓越した技能を習得し、後の育成に尽力された技能功労者1名、並びに日頃より職務に精励され、多可町の産業の発展に貢献された優良従業員の方々(町長表彰18名、会長表彰32名)を表彰いたしました。

厳粛な雰囲気の中、27名の被表彰者の皆様にご出席頂きました。そのご功績を称え、心からお祝い申し上げます。

技能功労者表彰

30年以上の永年に亘り同一の職種に従事され、優れた技能をもって会社に貢献された方を称えるもの

優良従業員表彰

同一企業に永年勤務(20年・10年)されて勤労意欲に満ち、勤務内容が特に優秀で他の模範となる従業員の方を称えるもの



被表彰者の皆様と記念撮影

技能功労者表彰1名

・政所悦子

優良従業員表彰

多可町長表彰の部(勤続20年以上) 18名

(株)アイ・エス・ティ・加美

・岡田由美

・道本奈美

・廣田智美

・竹本由美

・高見明敏

・益田圭悟

・橋詰文広

・永瀬靖典

・玉田千裕

・高石良樹

・酒井博幸

・柴田慎吾

・萩原弘己

・細田雅弘

・藤本達弥

・藤田健一

・足立陽子

・大森祥生

多可町商工会長表彰の部(勤続10年以上) 32名

エー・エル・ピー(株)

・櫻本恭子

・山本ニダサンチャゴ

・竹本ひとみ

・横山良介

・井上果那子

・井上由貴栄

・中村恵子

・本村利江

・加茂勇太郎

・能瀬春久

・青山沙緒

・廣田裕美子

・常見正夫

・永井典子

・宮永昌実

・藤原孝文

・白井仁美

・森川勝巳

・越川久香

・江本亨

・西田喬一

・藤原大樹

・津田哲男

・徳平聡子

・中元弘朱

・繁田和子

・山下和真

・三村幸

・市位千賀子

・上月美千代

・坪田喜美子

・佐藤さゆり

(順不同・敬称略)

「多可町共通商品券」のご利用について

本商品券は、地域経済の活性化を目的に、地域内での消費を促進し、地元のお店を支援することで、地域全体の活力を高めることを目指して発行しています。商品券は500円券と1,000円券の2種類を用意しており、様々なシーンでご活用頂けます。



用途としては、入学祝い、卒業祝い、就職祝い、結婚祝い、出産祝いなど大切な節目のお祝い事や記念品として選ばれることが多く、大変好評を頂いています。贈る方、受け取る方のどちらにも喜ばれる、心温まるギフトとしてお勧めです。更に、町内の多様な店舗や施設でお使い頂けるため、地元の魅力を楽しみながら、生活の中で役立てることが出来ます。お買い物やお食事など日常の幅広いシーンで活躍する商品券として、ご利用ください。(※令和6年12月現在、193店舗登録)

「小規模企業共済」へのご加入をお勧めします

小規模企業共済は小規模事業者のための退職金制度です。掛金は全額が所得控除の対象となるため、節税しながら将来の生活を安定させる準備ができます。掛金は月々1,000円から70,000円の範囲で設定可能で事業の状況に応じて増減することもできます。共済金は廃業や引退時に一時金や分割金として受け取り、税制上も退職所得控除などの優遇が受けられるため、大変お得です。また、掛金を担保に融資を受けることも可能で、万一の資金繰りの際にも安心です。

将来に備え、安心の制度である小規模企業共済への加入をご検討ください。(担当：後藤綺・横畑)

安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

こんな悩みにお応えします

年金に不安を感じたら

無理のない月額で積立をしたい

制度の特長

- 1 経営者のための**退職金制度**
- 2 掛金は**全額所得控除**
- 3 受取時も**税制メリット**

他にもこんな特徴があります。

- ・月々の掛金は1,000円から
- ・契約者貸し付けの利用が可能
- ・共済金の受給権は差押禁止

共済相談室 TEL. 060-5541-7171 【受付時間】平日 9:00~17:00

